

第16回 第7次NACCS合同作業部会 議事要旨

1. 日時：令和4年9月15日（木）10:00~11:30
2. 場所：オンライン開催（Microsoft Teams）
3. 出席者：別紙の通り
4. 議事の概要
 - (1) 議題1 第15回合同作業部会の結果報告
 - 議事資料1に基づき、事務局より説明を行った。
 - (2) 議題2 共通管理番号の番号紐づけ数拡大<2>
 - 議事資料2に基づき、事務局より説明を行った。
 - (3) 議題3 バンニング情報における輸出管理番号登録可能件数の拡大
 - 議事資料3に基づき、事務局より説明を行った。
 - (4) 議題4 貨物状況通知サービスの提供<3>
 - 議事資料4に基づき、事務局より説明を行った。
 - 第14回合同WGにて、入港日の変更時を通知契機に追加していただきたく、要望を出したが、検討結果はどうなったか。（委員）
⇒ 資料10ページに記載のとおり、いただいたご要望については、検討の結果、更改時点では対応を見送る。（事務局）
 - 更改時点で対応が見送られた要望について、更改後には対応される予定という認識でよいか。（委員）
⇒まずは、これまでにご提示した仕様にてリリースし、利用状況を勘案の上、対応可否を含めて検討いたしますので、必ずしも実現するとは限らないことをご了承いただきたい。（事務局）
 - (5) 議題5 NACCSパッケージソフトのユーザーインターフェース改善<3>
 - 議事資料5に基づき、事務局より説明を行った。
 - (6) 議題6 ebMS処理方式の廃止 netNACCS処理方式の接続仕様公開<2>
 - 議事資料6に基づき、事務局より説明を行った。

(7) 議題7 不開港から不開港への船舶出入港に係る許可申請のシステム可能化

- 議事資料7に基づき、事務局より説明を行った。

(8) 議題8 納期限延長に係るリアルタイム口座対応

- 議事資料8に基づき、事務局より説明を行った。
- 特例輸入申告の納税申告時についても、納付方法の変更、引き落とし日の変更ができるようにしていただきたい。(委員)
⇒実施可否を含め、検討する。(事務局)
- 直納の場合、担保の回復に日数を要するため、輸入者、通関業者に負担がかかっている。リアルタイム口座振替により納付を行った場合は、担保の回復は即座に行われる仕様にしていただきたい。(委員)
⇒いただいたご意見を踏まえて、担保の回復タイミングについて検討する。(事務局)
- 管理資料の一括納付用明細書情報等で、リアルタイム口座により納付を行ったかどうか、識別できるようになるのか。(委員)
⇒一括納付用明細書情報等に口座番号を出力する予定であり、その情報にて確認が可能となる。(事務局)
⇒現行で利用している担保を引き続き利用できるという認識でよいか。(委員)
⇒納期限延長用の担保であれば、ご利用可能である。(事務局)
⇒KZH業務の実施可能利用者について教えていただきたい。(委員)
⇒基本的に申告者は実施可能としている。当該一括納付口座の名義人である輸入者でも実施可能とするかについては、実施可否を含め、検討する。(事務局)
⇒リアルタイム口座により納付を行う場合、IDA業務では、担保番号を入力するとともに、納付方法「R」と口座番号を入力するのか。(委員)
⇒ご認識の通りである。(事務局)
⇒担保番号と口座番号の紐づけ設定はあるのか。(委員)
⇒担保番号と口座番号の紐づけはない。担保については、担保を利用可能な輸入者等であるかのチェックをし、口座番号については、利用可能な輸入者または申告者の口座であるか、それぞれチェックを行う。(事務局)

- リアルタイム口座により納付を行う場合、IDA業務では、担保番号を入力するとともに、納付方法「R」と口座番号を入力するのか。（委員）
 - ⇒ご認識の通りである。（事務局）
 - ⇒「納期限延長口座引落とし結果通知情報（仮）」は、申告者へ出力されると記載があるが、一括納付書単位、輸入者単位のどちらで出力されるのか。（委員）
 - ⇒一括納付書単位で出力する。（事務局）
 - ⇒「納期限延長口座引落とし結果通知情報（仮）」は、EXC型、EXZ型どちらで配信する予定なのか。（委員）
 - ⇒配信方法については、今後検討する。（事務局）
 - ⇒KZH業務は代表通関業者も実施可能か。（委員）
 - ⇒口座振替の延納分は申告者のみに出力されるため、代表通関業者はKZH業務を実施できない。（事務局）
 - ⇒一括納付書情報の出力先として代表通関業者を設定した輸入者であっても、直納・MPN・リアルタイム口座振替が混在していた場合、直納・MPN分は代表通関業者、リアルタイム口座振替分は申告者と出力先が変わるという認識でよいか。（委員）
 - ⇒ご認識の通りである。資料8、9ページ掲載の表の「出力先」列にて、「A」となっている帳票は必ず申告者に出力、「B」となっている帳票は事前設定で輸入者または代表通関業者に出力（設定がない場合は申告者に出力）する。（事務局）
 - ⇒資料5ページに「直納⇒リアルタイム口座振替への変更の場合のみ、税関の確認業務を設け、確認が終了しないと引き落とし処理が実行されない仕組みを設ける。（出力した納付書の処理は税関の指示に従う。）」と記載があるが、税関での確認完了時、通知はあるのか。（委員）
 - ⇒税関での確認完了時、利用者に通知するか否かについては、実施可否を含め、検討する。（事務局）
 - ⇒ここでいう「税関」とは、申告官署の収納課という認識でよいか。（委員）
 - ⇒ご認識の通りである。（事務局）
 - ⇒リアルタイム口座により納付を行う際、残高不足等で納期限日にエラーとなり、納期限日を過ぎてしまった場合、延滞税はかかるのか。（委員）
 - ⇒ご認識の通り、法令上の規定通り、納期限日を過ぎての納税の際には

延滞税がかかる。(事務局)

(2) 議題9 機用品蔵入等承認申請の改善

- 議事資料9に基づき、事務局より説明を行った。

(3) 議題10 航空貨物における仮陸揚関連業務の改善

- 議事資料10に基づき、事務局より説明を行った。
 - 「仮陸揚貨物の「空港間運送」の可能化」について、保税運送には、既存のGOL01業務を利用するのか、新規業務を設けるのか決まっているのか。(委員)
⇒保税運送について、どの業務を採用するかは検討中である。(東京税関)

2. 連絡事項

- 本日の議題について、ご質問・ご意見等があればアンケートフォーム、メール等にてお寄せいただきたい。
- 今後のスケジュールは以下を予定している。
 - 2022年10月13日(木) 第17回合同作業部会
 - 2022年11月10日(木) 第18回合同作業部会
 - 2022年12月8日(木) 第19回合同作業部会

以上